

# 2019年度一般推薦(公募制)・帰国生・校友子女・提携校推薦入学試験「小論文」

2018年6月に閣議了解された「未来投資戦略 2018-『Society 5.0』『データ駆動型社会』への変革」でも、人材の最適活用に向けた労働市場改革を進めることを明確化しています。日本の労働生産性に関する3つのグラフを読み取り、課題を整理して、その課題に対するあなたの意見を720字から800字以内で述べてください。ただし、文中においてグラフのどの内容を参照したか、明確に記述しなさい。なお、労働生産性とは、1人当たりあるいは労働時間1時間当たりの成果(価値)を指します。

図1 OECD加盟諸国の1人当たりGDP(2016年)

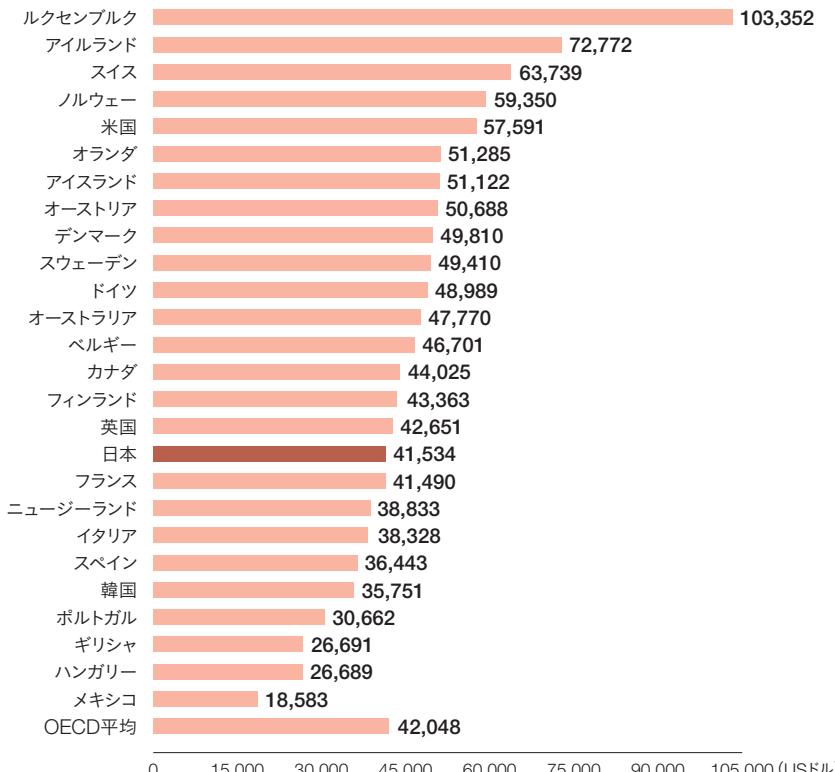
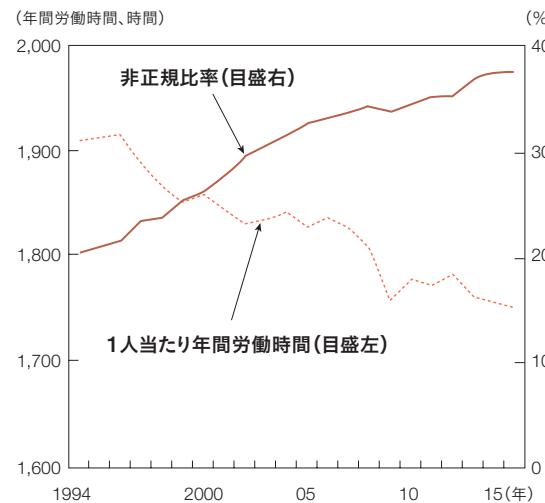


図1は、GDPを就業者数で除して計算している。OECD加盟国全ての国をグラフに記載していない。

出典:日本生産性本部(2017)『労働生産性の国際比較2017年版』1頁を一部修正。

図2 1人当たり年間労働時間と非正規比率



出典:内閣府(2017)「平成29年度年次経済財政報告(経済財政政策担当大臣報告)―技術革新と働き方改革がもたらす新たな成長―」101頁を一部修正。

図3 都道府県別年間労働時間と労働生産性の関係

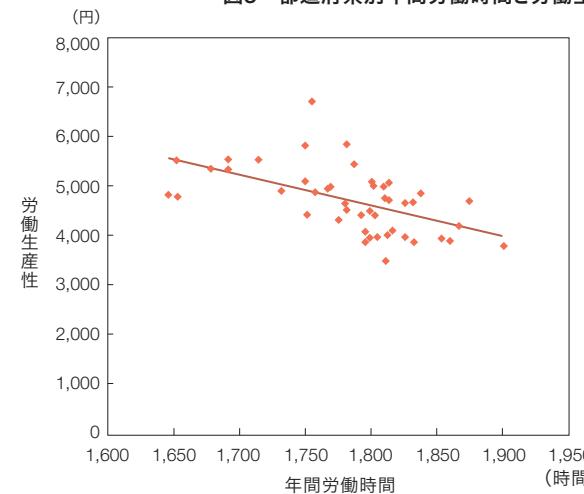


図3は、都道府県の労働生産性を実質県民総生産÷(就業者数×労働時間)で計算し、労働時間との関係を表している。  
出典:厚生労働省(2017)『平成29年版労働経済の分析—イノベーションの促進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた課題—』139頁を一部修正。厚生労働省「毎月労働統計調査(地方調査)」、内閣府「県民経済計算」をもとに厚生労働省労働政策担当参事官室にて作成。